

乙部町地域公共交通会議における地域公共交通確保維持改善事業の概要

事業実施の目的・必要性

本町の公共交通網は、「乙部町乗り合いタクシー」を運行させるまでは、国道229号沿い（海岸沿い）を中心に運行しており、かつ運行時間間隔についても1～2時間と、自動車保有しない住民にとっては、本町で生活を続けることが厳しい環境であった。このような状況を踏まえ、令和5年度から「乙部町乗り合いタクシー」の本格運行を開始し、より利便性の高い町民の生活の足の確保に努めている。

生活交通確保維持改善計画の目標

- 目標① 乙部町乗り合いタクシーの月平均利用者数を9～10人/カ月以上とする
- 目標② 乙部町乗り合いタクシーの収支率を現在の実績から微増（2.1～2.2%）とする
- 目標③ 乙部町乗り合いタクシーの運行に係る公的負担額について現在の実績から微増（1.1～1.3万円/人）に抑える。

令和5年度事業概要

運行系統名：乙部町乗り合いタクシー - 姫川鳥山以北線
運行区域：乙部町内（一部江差町まで）
運行回数：月水金4回/日、火木2回/日 実運行回数65回/年
※令和5年4月より本格運行開始
運賃：町内利用200～600円、町外利用650～1050円

地域公共交通の現況

- 函館バス(株)
 松山海岸線
- 患者輸送バス
 交通事情の不便な地域の住民が、町内の医療機関である乙部町国保病院において医療を受けることを目的として運行。
 - ・運行日：平日（月～金曜日）毎日
 - ・運行便数：1日3便（富岡～姫川方面、滝瀬方面、潮見～豊浜方面）
- デマンド型乗り合いタクシー
 館浦鳥山間の国道通行止めの影響が大きい鳥山以北の住民の生活交通を守るとともに、江差高校の部活終了後におけるバスの空白時間の補完を図るために運行。
 - ・運行主体：(有)おとペハイヤー
 - ・運行路線：姫川鳥山以北線、高校豊浜線

協議会開催状況

- 令和5年6月23日（金）
令和5年度第1回乙部町地域公共交通会議
- ・令和4年度事業実績及び令和5年度事業内容について
 - ・令和5補助年度及び令和6補助年度地域内フィーダー系統補助金の計画認定申請について
 - ・今後のスケジュールについて
- 令和5年12月25日（月）
- ・令和5年度における事業実施状況報告について
 - ・令和5年度における事業評価について
 - ・乙部町地域公共交通会議設置要綱の一部改正について
 - ・乙部町地域公共交通会議財務規程及び乙部町地域公共交通会議事務局規程の新設について
 - ・患者輸送バスの一般混乗化における方向性の検討について

令和5年度事業の実施状況

1) プロセス、創意工夫

■本格運行までのプロセス

- ・令和3年度 乙部町乗り合いタクシー実証運行開始
- ・令和4年度 江差町柳崎地区までの延伸

■令和4年度実施内容

●江差町までの延伸

- ・令和4年8月からは、利用者からの要望を受け、商業施設及び北海道立江差病院が立地している「江差町柳崎地区」までの延伸を実施

●パンフレットを活用した周知活動の展開

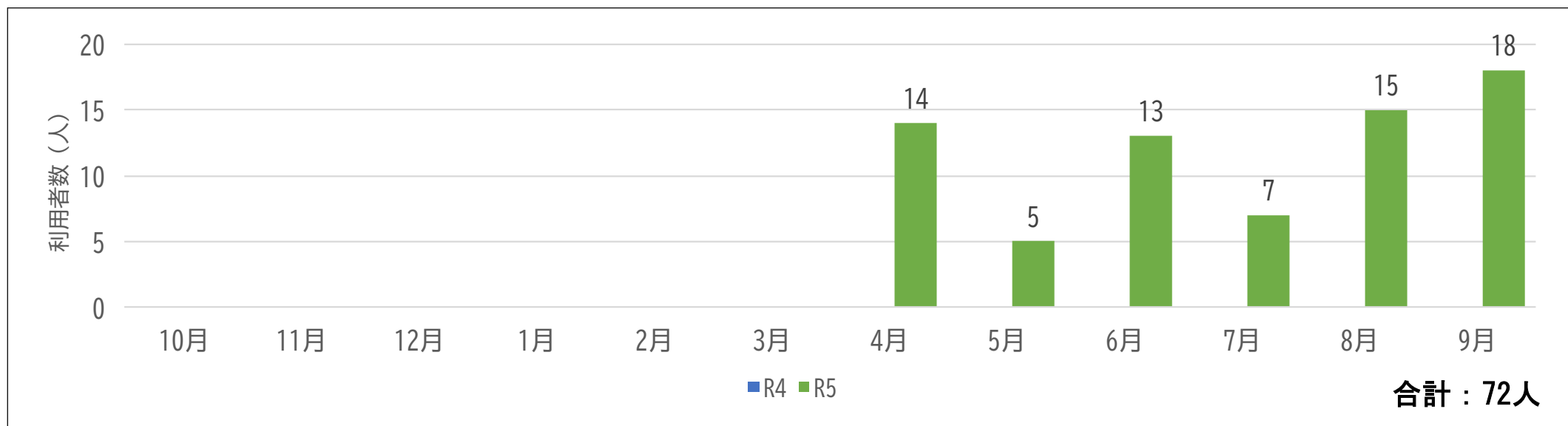
- ・乗り合いタクシーの運行にあたり、利用方法などを記載したパンフレットの作成し、町内全戸へ配布を行った。

2) 運行系統

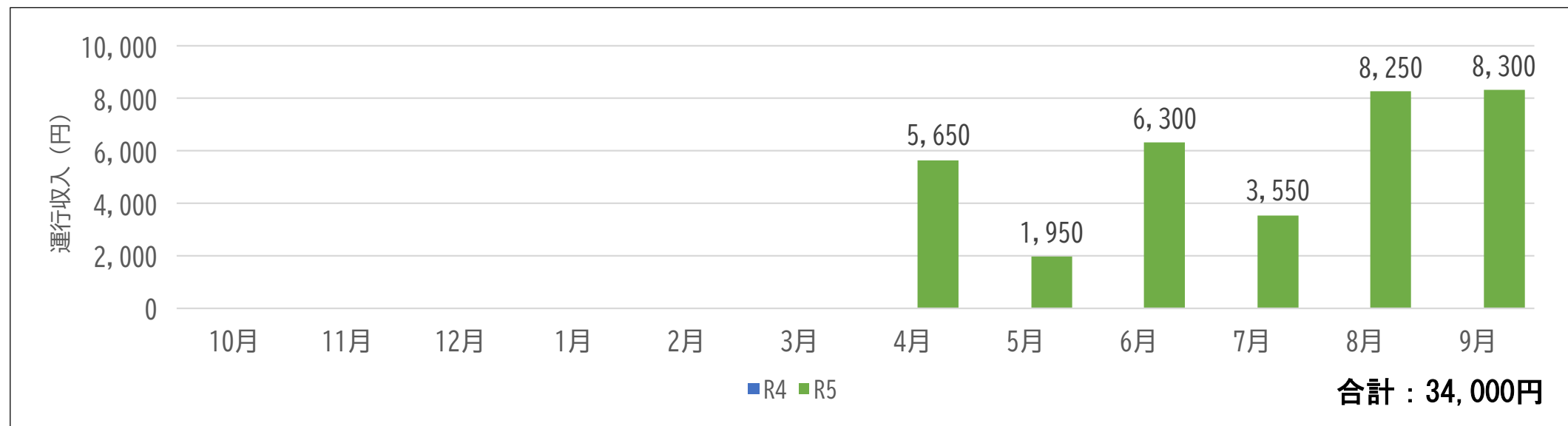


R5. 4～9月 鳥山姫川以北線 実績

3) 利用実績：（一月当たりの利用者数12人/月）



4) 収入実績（現金3.4万円）



5) 事業実施の適切性

○乗り合いタクシー - 姫川鳥山以北線：計画通りに適切に実施されている。

6) 目標・効果達成状況

目標① 乙部町乗り合いタクシーの月平均利用者数を9~10人/カ月以上とする

実績：12人/カ月

目標② 乙部町乗り合いタクシーの収支率を現在の実績から微増(2.1~2.2%)とする

実績：2.74%

目標③ 乙部町乗り合いタクシーの運行に係る公的負担額について現在の実績から微増(1.1~1.3万円/人)に抑える。

実績：1.7万円/人

【評価】

目標①及び②については、実績が目標を上回る結果となり、目標達成しているものの、目標③については、想定よりも多い地区からの利用や江差町までの利用が多かったことなどから、目標よりも多くの負担を行うこととなった。

7) 事業の今後の改善点

【運行】

●月平均利用者数をさらに増加させ、より町民にとって欠かせない交通手段に育てていく必要がある。そのためには、現在、利用していない町民に対しても、積極的に周知を行うほか、民生委員や議員などからの周知などの実施についても検討していく

【計画】

●現状、乗合率がほぼ1である状況を踏まえ、なるべく乗合で移動していただくなど、乗合に付加価値を付ける施策を検討していく

8) 地方運輸局における二次評価結果

- ・自己評価のとおり、事業は適切に実施されている。
- ・目標を一部達成できなかったことから、複数乗車を促す施策などの事業効率を高める取組をご検討いただきたい。
- ・引き続き効果的な周知を行うなどの利用促進につながる取組を期待する。